

教育・研究業績書

<b>領域名</b> 小児看護学		
<b>&lt;教員の紹介&gt;</b> 教 授 遠 藤 美根子 講 師 小 口 多美子		
<b>I 教育活動</b>		
<b>教育実践上の主な業績</b>	<b>年 月</b>	<b>概 要</b>
<b>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</b>		
1. 学部共通の授業「基礎ゼミ」「ふれあい実習Ⅰ・Ⅱ」にて講義・実習	2007年4月～現在	学部共通の授業「基礎ゼミナール」「ふれあい実習Ⅰ・Ⅱ」の学生グループを担当し、講義・演習や実習を少人数でのグループ教育を行い、学生の学習への取り組み、及び学習意欲の向上を図るため、教育及び教材を工夫改善を重ねている。
2. 専門領域である「小児看護学概論」及び「小児臨床看護論」における講義及び教材の工夫	2007年4月～現在	小児看護学に関する講義の教育内容に関して、講義資料及び視聴覚教材の工夫を行っている。また臨床の医師との連携授業により看護学教育の向上及び、学生の授業評価の結果に基づき、改善を図っている。
<b>② 作成した教科書、教材、参考書</b>		
「ふれあい実習Ⅰ・Ⅱ」ではカンファレンスの充実と報告書の作成	2007年10月	「ふれあい実習Ⅰ・Ⅱ」ではグループ間のカンファレンスを充実し、学生の学習効果をまとめた報告書を作成した。
「基礎ゼミナール」では教材の工夫と報告書作成	2007年11月	「基礎ゼミナール」では学生の学習効果を得るための工夫として、見学やインタビューを通じた生きた教材を活用し教育効果を上げ、成果として報告書を作成した。
「小児看護学概論」「小児臨床看護論」「小児臨床看護援助論」の教材作成	2008年4月	小児看護学の専門領域では、シラバスに沿って、参考資料を充実させ、講義資料を工夫した教材を作成し学生に配布。
<b>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</b>		

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
小児看護学	教授	遠藤 美根子	
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1987年 4月～現在	日本応用心理学会員		
1987年 4月～現在	日本看護研究学会員		
1987年 4月～現在	日本看護科学学会員		
1988年 4月～現在	日本小児保健学会員		
1988年 4月～現在	日本学校保健学会員		
1997年 10月～現在	日本家族看護学会員		
1997年 10月～現在	日本看護管理学会員		
1997年 10月～現在	日本災害看護学会員		
1998年 4月～現在	日本診療録学会員		
2000年 4月～現在	日本医療情報学会員		
2000年 4月～現在	日本小児精神神経学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
【症例報告】			
【総 説】			
【その他】			
和文			
1. <u>草野美根子</u> ：日本応用心理学会第72回(福島学院大学)にて発達・教育座長，2005.			
2. 林田りか， <u>遠藤美根子</u> ，中淑子：保育学生における子どものイメージ研究．日本応用心理学会第74回大会，2007.			
3. <u>遠藤美根子</u> ，板橋イク子，加藤光實：大学教育における臨床実習の意義と問題点．第35回獨協医学会，2007.			
4. 林田りか，中淑子， <u>遠藤美根子</u> ：看護学生と喫煙に関する研究．日本応用心理学会第75回大会，2008.			

## 教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
小児看護学	講師	小口 多美子	
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
2003年4月～現在	日本小児看護学会員		
2003年4月～現在	日本看護管理学会員		
2003年4月～現在	日本看護学教育学会員		
2003年4月～現在	日本看護福祉学会員		
2003年4月～現在	日本看護科学学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>小口多美子</u>：白血病の患児の理解に、絵本を用いてのイメージの変容の試み。第35回日本看護学会論文集—小児看護—：143-145, 2004.</li> <li>2. <u>小口多美子</u>：小児看護技術演習の工夫—共同学習の試み—。第36回日本看護学会論文集 看護教育：350-352, 2005.</li> <li>3. <u>小口多美子</u>：看護学生の小児特有ウイルス感染症予防対策に関する研究。国際医療福祉大学紀要 10：27-32, 2006.</li> <li>4. <u>小口多美子</u>，<u>豊嶋三枝子</u>，<u>金升子</u>：看護職の定年退職に関するアンケート調査。日本看護学会論文集：看護管理 37：442-444, 2007.</li> <li>5. <u>小口多美子</u>：「子どもと家族のケア」の授業に新聞を教材とした効果—学生の感想の分析より—。日本看護学会論文集—小児看護— 37：245-247, 2007.</li> <li>6. <u>浅野めぐみ</u>，<u>小口多美子</u>：歯科治療を受ける幼児への絵本を用いたプリパレーション効果。日本看護学会論文集—小児看護— 37：242-244, 2007.</li> <li>7. <u>豊嶋三枝子</u>，<u>小口多美子</u>，<u>金升子</u>：看護職の定年退職に対する思いと老後の生活設計に関する研究。日本看護福祉学会誌 12：55-65, 2007.</li> <li>8. <u>小口多美子</u>，<u>書上まり子</u>：自閉症児の医療機関受診時の困難と医療者への要望—家族によるアンケート調査より—。日本看護学会—小児看護— 38：152-154, 2008.</li> <li>9. <u>小口多美子</u>，<u>豊嶋三枝子</u>：看護職の定年退職に対する思いと定年退職後の看護職業継続意思との関連。第38回日本看護学会—看護管理— 38：252-254, 2008.</li> <li>10. <u>豊嶋三枝子</u>，<u>小口多美子</u>：看護職の定年退職に対する思いと老後の生活への準備の有無との関連。獨協医科大学看護学部紀要 1：23-28, 2008.</li> <li>11. <u>豊田省子</u>，<u>米澤弘恵</u>，<u>荒添美紀</u>，<u>小口多美子</u>他：「清拭刺激」による大脳皮質血流量への影響—NIRS（光ポトグラフィ）による検討—。獨協医科大学看護学部紀要 1：37-48, 2008.</li> </ol>			

12. 小口多美子, 加藤光實: 基礎ゼミナールにおける学生の理解と今後の課題. 獨協医科大学看護学部紀要 1:68-76, 2008.
13. 小口多美子: 小児に付き添う母親自身のPrivacy に関する調査 (1) -母親のエピソードや意見-. 第 39 回日本看護学会論文集-看護管理- : 205-207, 2008.
14. 小口多美子: 小児に付き添う母親自身のPrivacy に関する調査 (2) -看護師の配慮, 母親との比較-. 第 39 回日本看護学会論文集-看護管理- : 208-210, 2008.
15. 小口多美子, 書上まり子: 医療者から受けた良い対応-自閉症児の保護者からのアンケート調査より-. 獨協医科大学看護学部紀要 2: 35-42, 2009.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】